



備えは万全?

●東海豪雨により冠水した愛知県西枇杷島町
(撮影日: 2000年9月12日)

洪水から守ろうみんなの地域



水防月間

平成21年5月1日(金)～5月31日(日)

主催: 国土交通省、内閣府、都道府県、水防管理団体(市町村等)

■後援: 防衛省、警察庁、総務省消防庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本放送協会、(社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟、日本赤十字社

■協賛: 全国水防管理団体連合会、(社)日本河川協会、全国治水期成同盟会連合会、(社)建設広報協議会、(社)全国海岸協会、(社)全国治水砂防協会、(社)全国防災協会、(社)全国土木コンクリートブロック協会、(社)ダム・堰施設技術協会、(社)河川ポンプ施設技術協会、(社)雨水貯留浸透技術協会、(財)河川環境管理財団、(財)河川情報センター、(財)国土技術研究センター、(財)ダム技術センター、(財)ダム水源環境整備センター、(財)リバーフロント整備センター、全国建設弘済協議会

北海道は、平成21年6月1日(月)～6月30日(火)

水防活動は恐ろしい水害から安全な暮らしを守ります。

私たちの住んでいる日本は、雨量が多く、急な傾斜が多い等の条件により、常に洪水が発生しやすい危険性をもっています。

各地域では、昔から生命や財産を水害から守るため治水対策が行われていますが、多くの費用と長い期間が必要とされるので、まだまだ水害を根絶するにはいたっておりません。そこで、機敏な対応で水害を未然に防ぎ、また被害を少なくする「水防活動」が自分たちの地域を守るうえで重要な役割を担っているのです。

いざ！ という時のために、水害への備えをしましょう。

日頃からの備えが、いざというときに必ず役に立ちます。

事前の備え

避難場所、避難経路は事前に確認

- 安全な避難を行うためには、避難場所、避難経路を事前に確認しておくことが重要です。
- 洪水ハザードマップなどを活用して、どの避難所へどの道を通って避難するのか確認しておきましょう。
- 家族が離れているときの安全確認の方法を決めておきましょう。
- ハザードマップポータルサイト
<http://www1.gsi.go.jp/geowww/disapotal/index.html>



非常時の持ち出し品は事前に準備

- 貴重品、衣類、非常用食品などを準備しておきましょう。
- 懐中電灯やラジオの準備も大切です。
- 避難時の荷物は必要最低限にしましょう。



台風などが近づいたら

気象情報や河川情報に注意

- 水害時に避難行動を取るためには、付近を流れる河川の水位の情報や雨量の情報、気象予報、洪水予報を把握することが重要です。
- 河川の水位が避難判断水位に到達することや、はん濫警戒情報の発令が、避難勧告発令の一つの目安であり、避難を判断するタイミングの目安になります。
- 浸水後の避難は非常に危険です。早めに避難しましょう。
- なお、河川の水位や雨量の情報は、テレビ、ラジオ、携帯電話、インターネットなどで入手できます。



国土交通省ではインターネット・iモードでも水害の情報を提供しています

URL インターネット版 <http://www.river.go.jp/>
iモード版 <http://i.river.go.jp/>



みんなの地域をみんなで守る！

水防団員募集中！

水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止め、私たちの生命や財産を守るため貴重な役割を果たすのが**水防(消防)団**です。

一人ひとりが力を合わせてこそ水防は成り立つのです。

現在、水防(消防)団員は、減少、高齢化が進んでおり、

水防活動の充実を図るためにも是非ともあなたの力が必要なのです。

水防(消防)団員は、非常勤の公務員という身分を有しており、

市町村等で手当等が支給されます。

詳しく知りたい方は居住する市町村等にお問い合わせください。

